

「とりあえず働いてみよう」 気づけば魅力に引き込まれた入所介護スタッフ

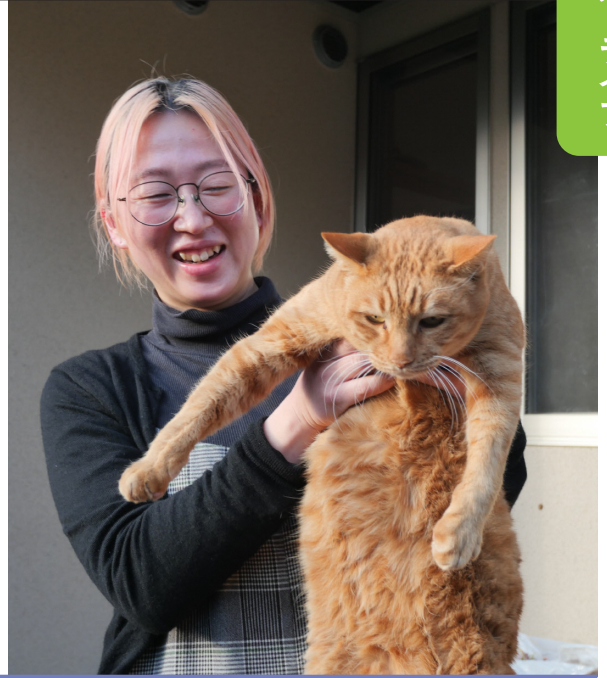
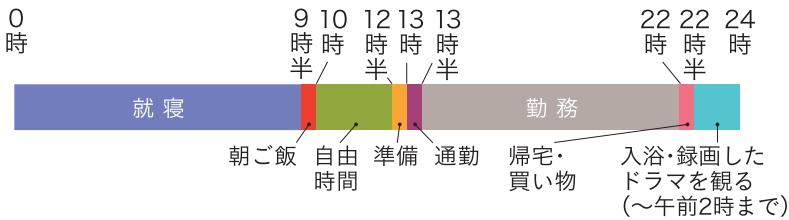
久保真梨子さん / 32歳

特別養護老人ホーム よりあいの森
施設職員・社会福祉士

キャリア

18歳	福祉科のある大学に入学 雑貨店でアルバイト
22歳	第2宅老所よりあい(通所介護)に就職
30歳	特別養護老人ホームよりあいの森に異動

ある日の1日(運出の日)



- 仕事をしてみて感じる「自分」と「介護」の相性
- 話すだけではないコミュニケーションの奥深さ
- 利用される高齢者、スタッフの交流が織りなす生活の場

福祉の仕事をする前は何をしていた？

— 児童分野に興味はあるけど、こだわりはなし

児童福祉・教育に関心があって、福祉科のある大学で学びました。その時は、介護の業界に行きたいと思って選んだというわけではないんです。近くに住んでいた祖父・祖母は元気なこともあってか、結構幅が広い福祉分野の中で介護のイメージが湧いていませんでした。自分とは関係がない世界のような。

大学で福祉実習はしていましたが、いざ就職となったときにこだわりはなくて、とりあえず就職先が見つければと思っていました。雑貨屋でバイトしていて、そのまま就職しようかとも思ったんですけど、周りが就職活動をしていたので、その流れで就活はしよう(笑)。周りの人の意見の影響はよく受けて、流されやすいタイプなんです(笑)。

— 「とりあえず働こう」が第一歩

実家から通える児童福祉関係の仕事がなくて、大きな職場説明会に足を運んでみたんです。児童福祉関係はあまりなかったのですが、「宅老所よりあい」と同じ法人の「かしはらホーム」のブースでいろいろ話を聞きました。そこから、ちょうど求人を出していた「第2宅老所よりあい」の面接を受けてみました。「とりあえず働いてみよう。良くなければ、バイト先の雑貨屋に戻ればよい」くらいの感覚でした。

最初は、この仕事は自分に向いていないのでは…と悩みました。その時に周りから「自分の気持ちを率直に言葉にして良いよ」と言われたことが支えになって。気づけば10年、働き続けています。自分がどっぷりつかるとは思っていませんでした。

！ 福祉の仕事をする前と後で、イメージは変わった？

— 生活を創る場で巻き起こる交流の魅力

通所介護の「第2宅老所よりあい」で働き始めたころは何も技術を持たない中で、「コミュニケーションは大事だけれど、話すだけがコミュニケーションではないよ」「その人を



知ることを大事にね」と言われました。ここは制服もなくて、実習のときの雰囲気とはだいぶ違って、出迎えてくれるおばあちゃん家という感じです。

特別養護老人ホームに移ると、利用者さんの過ごし方がまた違う。特養は住まいで、日々の生活が創られていきます。個人の生活がまずあり、日中はみんなで集まって談笑して。面白いのは、お年寄りが私の予想をはるかに上回る行動や返答をしてくるとき。こうしてほしいと思っても、そうしてくれない(笑)。こちらの心を読まれているのかも。

周りの話を聞くと介護の仕事が辛いと、辞めていく友達もいます。人との相性もあるし、それをどう乗り越えられるか。「よりあいの森」では職員同士で、業務上の話だけでなく、自分がいらいらした場面や悩みや感情を共有する時間があります。細かく振り返れる機会は大切かも。あと誰かが利用者さんと少し険悪になっても、周りのお年寄り、スタッフが笑ってくれる。ケンカすることは当たり前ということで、場の雰囲気を変えてくれます。

！ 介護の仕事以外で、あなたについて教えてください！

— 音楽も洋服も…知らなかった世界を誰かに教えてもらう

音楽が好きで、よくライブやフェスに行きます。聞いていて心地の良い音楽、ゆるめの音楽が好きで、マイナーなバンドもいろいろ聞いていますよ。YouTubeの関連動画で出てくる音楽から聴き漁っていく感じです。あと、映画を見ることも好きです。最近は家で見ることが多いですが、Yahooレビューを見ておすすめ度が高い映画を観に行っていたりしていました。あと、洋服、美容院も好きで、多趣味なところがあります。

自分が知らなかった話も好きで、最初は興味がないことも、知ってみると意外と自分も好きってなります。誰かとしゃべりたいときは友達とごはんに行ったり、洋服屋さんの店員とおしゃべりしたり。昔は、人見知りだったんですけど、お年寄りと話そうになって、自分も意外と人と話すことは嫌じゃないと思って。更にいろいろ知りたい、じゃあ誰かと話をしようと思えるようになりました。



取材を
終えて

久保さんのお話を受けて、仕事としての介護を体験することで見えてくるもの、感じ取れるものの多さを感じました。自分に合う接点を仕事の中に見つけることは大切ですね。